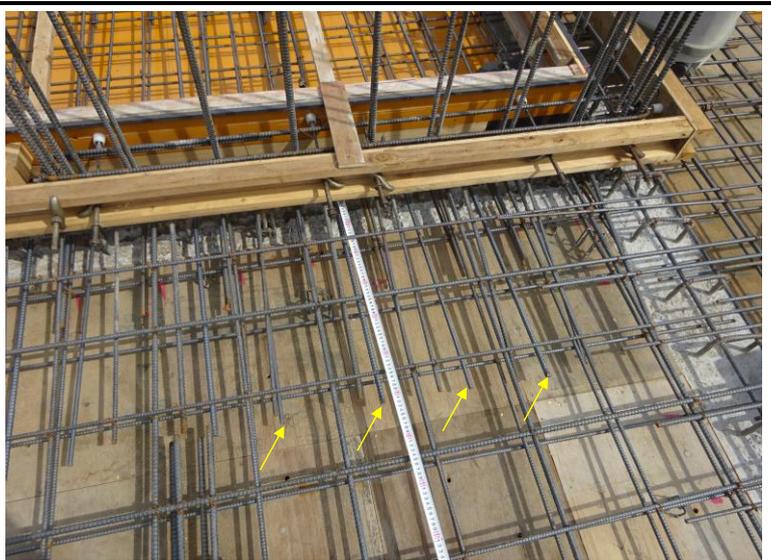


現況検査により認められる状況の記録

令和5年4月4日	
NO	31
場所	AB棟 (BX 2~4 通り)
部位	キャンティスラブ (CS1)
<p>BX 4~6 通りと同様にS3スラブへの定着長さ (外壁内面より500mm以上) が計画 (施工図) 内容とは異なり不足していることを指摘。</p>	
	



令和5年4月5日	
NO	32
場所	AB棟 (BX 2~4 通り)
部位	キャンティスラブ (CS1)
<p>上記指摘に関しては、その場にて是正が行われたことを確認済。(B棟共通事項)</p>	
	

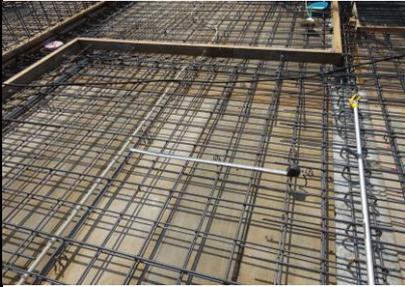


令和5年4月4日	
NO	33
場所	AB棟 (BX 2~4 通り)
部位	床スラブ (S3)
<p>AB棟 (BX 2~4 通り) の床スラブ (S3) の配筋組状況。</p>	
	



現況検査により認められる状況の記録

令和5年4月4日	
NO	34
場所	AB棟 (BX 2~4 通り)
部位	床スラブ (S3)
計画通りの配筋組が行われていることを確認。上端筋D10・D13@200mmチドリ (縦横共)	



令和5年4月4日	
NO	35
場所	AB棟 (BX 2~4 通り)
部位	床スラブ (S3)
同上。	



令和5年4月4日	
NO	36
場所	AB棟 (BX 2~4 通り)
部位	床スラブ (S3)
段差スラブの段差部分は、計画 (施工図) 通りの幅 (2D: スラブ厚さ150mm × 2=300mm) が確保されていることを確認。	

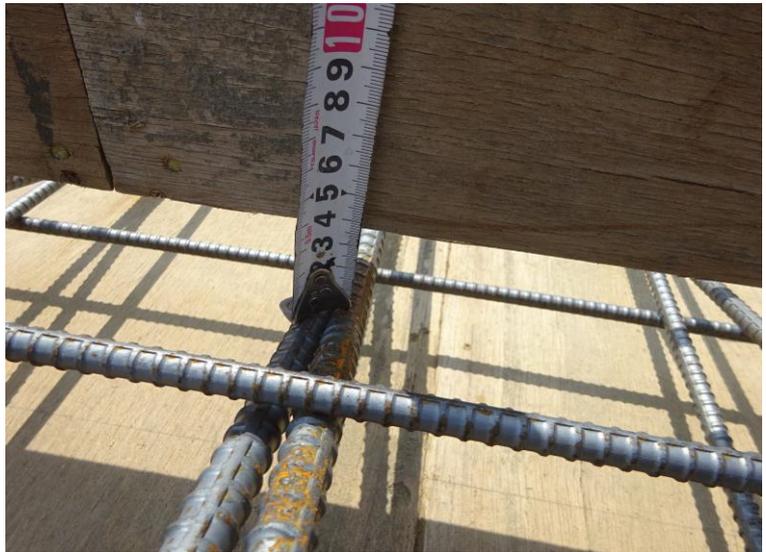


現況検査により認められる状況の記録

令和5年4月4日	
NO	37
場所	AB棟 (BX 2~4 通り)
部位	床スラブ (S3)
段差スラブ部分の配筋組が計画 (施工図) 通りであることを確認。	



令和5年4月4日	
NO	38
場所	AB棟 (BX 2~4 通り)
部位	床スラブ (S3)
段差スラブ部 (浮型枠下部) のスラブ上面の鉄筋かぶり厚さ (20mm以上) が確保される状況であることを確認。	



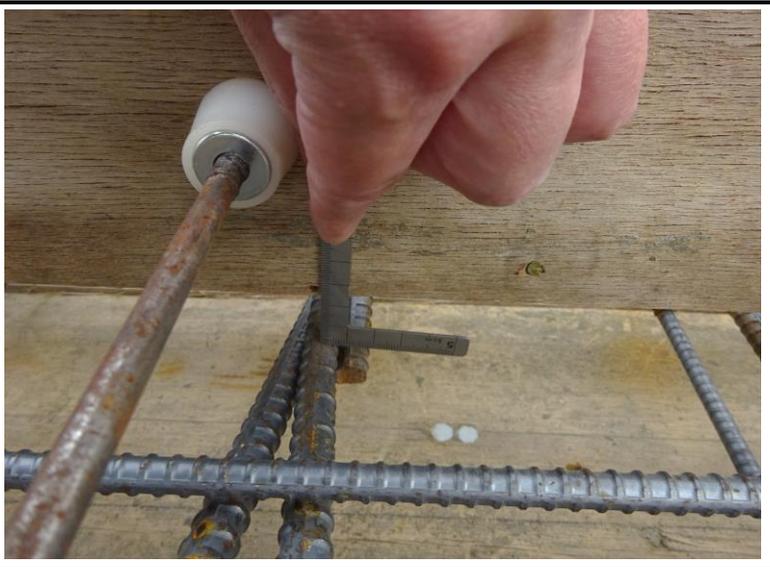
令和5年4月4日	
NO	39
場所	AB棟 (BX 2~4 通り)
部位	床スラブ (S3)
側面側の段差スラブ部 (浮型枠下部) の一部では、鉄筋かぶり厚さ (20mm以上) が確保されない状況であることを指摘。	



現況検査により認められる状況の記録

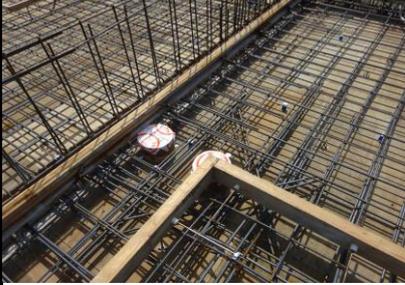
令和5年4月5日	
NO	40
場所	AB棟 (BX 2~4 通り)
部位	床スラブ (S3)

上記指摘に関しては、同様箇所を含めその場にて是正が行われたことを確認済。

令和5年4月4日	
NO	41
場所	AB棟 (BX 2~4 通り)
部位	床スラブ (S3)

床面スリーブ貫通部 (梁際位置) には、計画 (施工図) 通りに開口補強筋が設置されていることその他、スリーブ廻りには鉄筋かぶり厚さ (20mm以上) が確保される状況であることを確認。




令和5年4月4日	
NO	42
場所	AB棟 (BX 4~6 通り)
部位	床スラブ (S3)

床下点検口用の開口補強筋が計画 (施工図) 通りに設置されていることを確認。  
(開口廻りの縦横: 上筋2-D13、下筋2-D13)




現況検査により認められる状況の記録

令和5年4月4日	
NO	43
場所	AB棟 (外部廊下)
部位	C S 2 A
同上。余長部の長さ：L1 (D13×40 d = 520mm)	



令和5年4月4日	
NO	44
場所	AB棟 (B X 4～6 通り)
部位	床スラブ (S 3)
床下点検口用の開口補強筋が計画 (施工図) 通りに設置されていることを確認。 (開口廻りの斜筋：上筋1-D13、下筋1-D13)	



令和5年4月4日	
NO	45
場所	AB棟 (外部廊下)
部位	C S 2 A
計画通りの配筋組が行われていることを確認。上端筋D10・D13@100mmチドリ (縦横共)	



現況検査により認められる状況の記録

令和5年4月4日	
NO	46
場所	AB棟 (外部廊下)
部位	CS 2 A
同上。	




令和5年4月4日	
NO	47
場所	AB棟 (外部廊下)
部位	CS 2 A
同上。重ね継手長さ (L1 : D13の場合、D13×40=520mm以上) が計画 (施工図) 通りであることを確認。	




令和5年4月4日	
NO	48
場所	AB棟 (外部廊下)
部位	CS 2 A
CS 2 A端部の部分では、鉄筋かぶり厚さ (20mm以上) が確保されない箇所があることを指摘。	




現況検査により認められる状況の記録

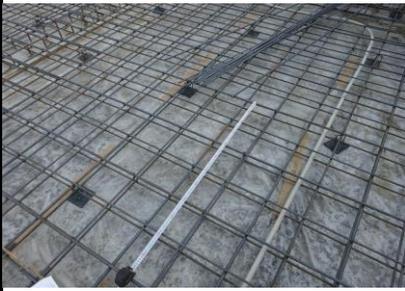
令和5年4月5日	
NO	49
場所	AB棟 (外部廊下)
部位	C S 2 A
上記指摘に関しては、その場にて是正が行われたことを確認済。	




令和5年4月4日	
NO	50
場所	AB棟 (BX 1~3 通り)
部位	床スラブ (S 3)
AB棟 (BX 1~3 通り) の床スラブ (S 3) の配筋組状況。住戸下部となる範囲には、防湿シートが敷設されていることを確認。	

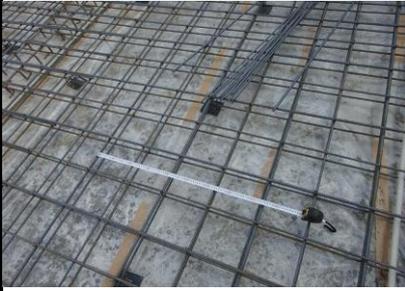



令和5年4月4日	
NO	51
場所	AB棟 (BX 1~3 通り)
部位	床スラブ (S 3)
計画通りの配筋組が行われていることを確認。上端筋D10・D13@200mmチドリ (縦横共)	

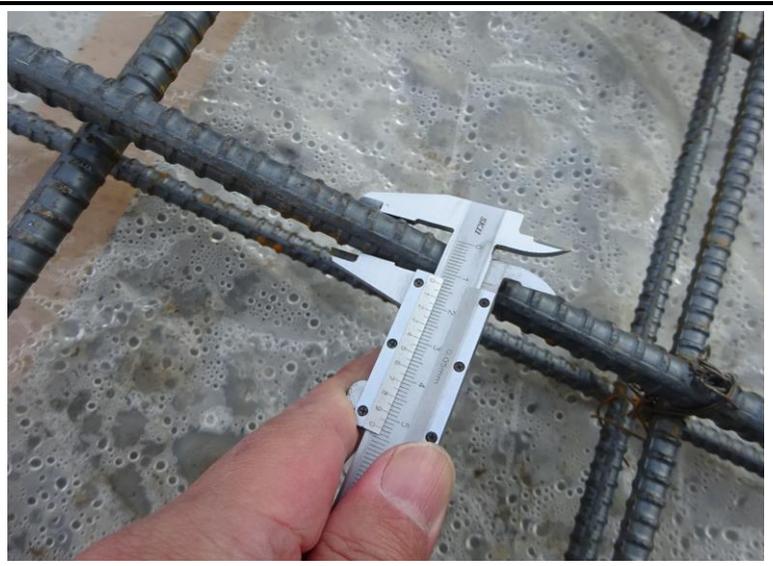



現況検査により認められる状況の記録

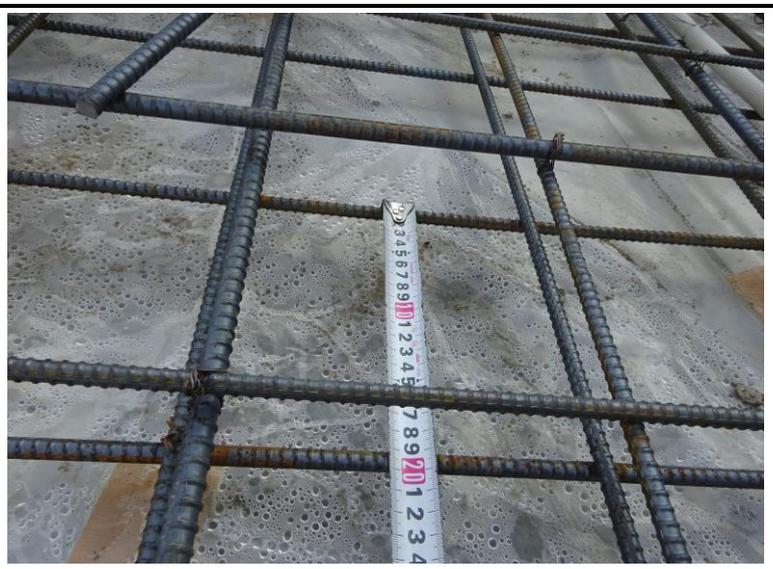
令和5年4月4日	
NO	52
場所	AB棟 (BX 1～3 通り)
部位	床スラブ (S 3)
同上。	




令和5年4月4日	
NO	53
場所	AB棟 (BX 1～3 通り)
部位	床スラブ (S 3)
同上。	

令和5年4月4日	
NO	54
場所	AB棟 (BX 1～3 通り)
部位	床スラブ (S 3)
同上。計画通りの配筋組が行われていることを確認。下端筋D10@200mm (縦横共)	

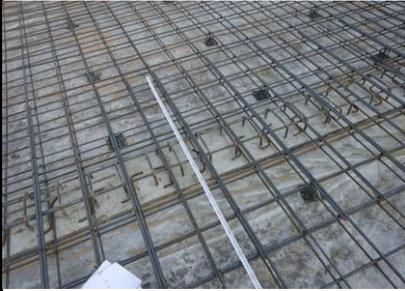
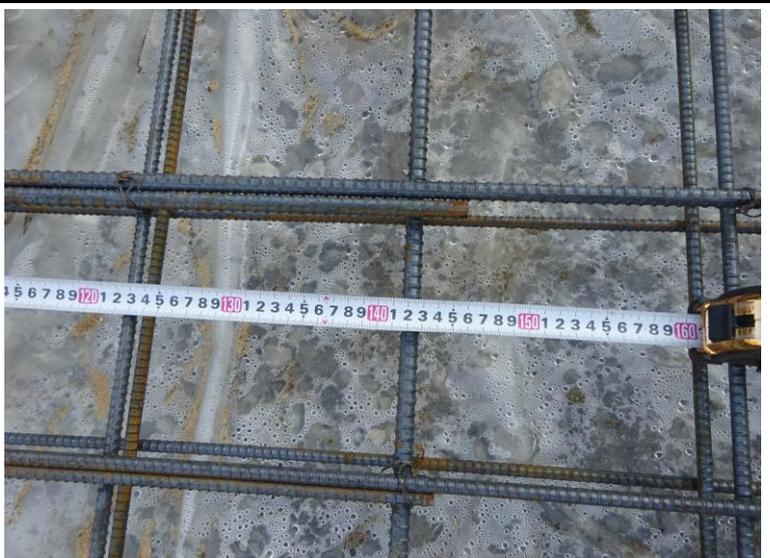



現況検査により認められる状況の記録

令和5年4月4日	
NO	55
場所	AB棟 (BX 1～3 通り)
部位	床スラブ (S3)
スラブ上下面の鉄筋かぶり厚さ (20mm以上) が確保されるようスペーサーが設置されていることを確認。	




令和5年4月4日	
NO	56
場所	AB棟 (BX 1～3 通り)
部位	床スラブ (S3)
基礎梁上部位置の定着長さ (L2: D13×35 = 455mm以上) が計画 (施工図) 通りに確保されていることを確認。	

令和5年4月4日	
NO	57
場所	AB棟 (BX 1～3 通り)
部位	床スラブ (S3)
BY 3通りの段差スラブ側面部分は、鉄筋かぶり厚さ (20mm以上) が不足する状況であることを指摘。	

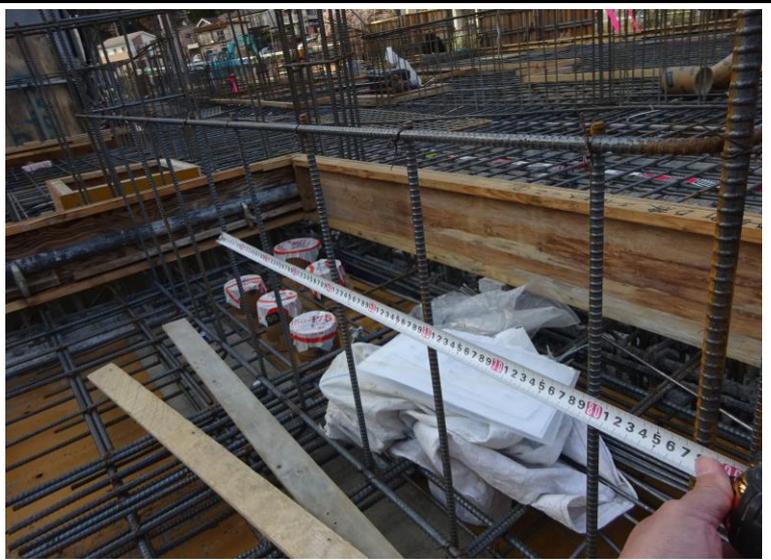



現況検査により認められる状況の記録

令和5年4月5日	
NO	58
場所	AB棟 (BX 1～3 通り)
部位	床スラブ (S3)
上記指摘に関しては、その場にて是正が行われたことを確認済。	




令和5年4月4日	
NO	59
場所	雑壁
部位	W1 2 (非耐力壁)
W1 2 (非耐力壁) の立上がり筋 (縦筋) が計画通りであることを確認。(D10 @200mm)	

令和5年4月4日	
NO	60
場所	雑壁
部位	W1 2 (非耐力壁)
壁端 (交差) 部補強筋 (1-D13) が計画通りに設置されていることを確認。	